

美田の里 今里 平成20年度の活動計画

代表 慶野 豊 副代表 小峰康伸
副代表 小峰新平 会計 慶野貞夫

私達の、農地・水・環境保全向上対策組織である、「美田の里 今里」では、同事業推進を目的として、昨年度に引き続き今年度も充実した活動を行っていきたいと考えます。

上の目的に沿い慎重に論議した結果、今後以下のような事業を行うことに決定しました。

昨年度植栽の、豊穂川右岸の黄花コスモスの、実生から芽が出たら、回りの草むしり等の手入を行って、継続育成に努める。 →実生の芽が出なかったら、原因を分析し、以降年度の活動の参考にする。

今里中央を流れる用水路左岸(右下写真左手)に、一列に彼岸花の球根を植栽し育成する。球根の入手、植え方ほかに関しては今後鋭意研究を行う。



彼岸花の咲いている様子

彼岸花の豆知識

本来は中国から伝来した帰化植物で、道端や空き地などに群生し、9月中旬頃に赤い花をつける。まれに白い花の場合もある。開花時には葉が無く、葉が有る時は花が無い。

墓地や水田の畔に多いが、その球根の持つ毒性から、ネズミやモグラや昆虫などに、地中を荒らされないことを目的に植えたといわれている。

その毒性は、水に曝せば抜けるといわれており、昔の飢饉の時は最後の食料として供されたといわれている。

彼岸花の名の由来は色々あるが、最も広く言われているのは、秋のお彼岸の頃に、必ず、一斉に、そして美しく咲きそろうためだ、とのことである。

咲いた時の美しさ、そして荒地や傾斜地でもよく育つことから、最近では畔ばかりではなく、公園や道端や土手、あるいは屋敷周りにも植えられるようになった。

以上、インターネットWikipedia・ほかより

実際に植える場所を吟味し、今里中央を流れる用水路左岸に決めました。

この水路に沿った道路は、今里の主要道路で、一般的な通行や通勤・通学にと、誰もがいつも使っています。そして、今は他地域の人たちの通る、重要な道ともなっています。

植えた彼岸花が咲きそうと、さぞや見事なことでありましょうと、関係者一同は、今から期待することが大であります。



実際に植える場所の近くに立ち、今里人家方面を望む

農道・用排水溝のごみ拾いを、自治会行事と共催実施する(6月1日前後・12月中旬)。

上とは別に、用水溝内土砂さらい、用水溝漏水部補修、藻さらいほかを行う(4月中旬・1月下旬)。

地元育成会に協力を求め、大人と子供による水路の生き物調査をおこなう。必要によっては、数次に分けて行う(8月頃)。

必要に応じ、農道への砂利引きにより、悪路部の補修を行う。

今年度末に、当年度活動の反省と、来年度活動の計画立案のため、同様活動先進団体の見学研修を行う(2月下旬)。

備品として、作業用具他の収納庫の購入と設置を行う。

平成20年度の活動計画一覧

H20年4月	年初相談会・掘りさらい・ほか
5月	農道・用水路ごみ拾い
6月	彼岸花植え付け(準備含む)
7月	草むしり手入れ・ほか
8月	生き物調査
9月	草むしり手入れ・ほか
10月	草むしり手入れ・ほか
11月	
12月	農道・用水路ごみ拾い
H20年1月	用水路水漏れ部補修・藻等除去
2月	先進地見学研修
3月	砂利引き・その他

平成20年4月30日 文責 小峰新平